



平成 28 年 5 月 13 日

各 位

会 社 名 日本シイエムケイ株式会社
代表者名 代表取締役社長 高井 建郎
(コード番号 6958 東証第 1 部)
問合せ先 経営管理部長 萩原 正芳
(TEL : 03-5323-0235)

特別利益及び特別損失の計上並びに通期業績予想と実績との差異に関するお知らせ

当社は、平成 28 年 3 月期決算において、下記のとおり特別利益及び特別損失を計上することといたしました。また、平成 27 年 11 月 6 日に公表しました平成 28 年 3 月期通期業績予想と本日公表の実績において差異が生じたので、お知らせいたします。

記

1. 特別利益及び特別損失の計上について（個別）

当社は、連結子会社の財政状態及び業績状況を勘案し、個別決算において投資損失引当金 10 億 44 百万円を計上しておりました。

今般、当該連結子会社に関して評価の見直しを行った結果、将来業績が回復していく可能性を認識しつつも、健全性の観点から、個別決算において、関係会社株式評価損 37 億 34 百万円を特別損失に、投資損失引当金戻入額 10 億 44 百万円を特別利益に、それぞれ計上することといたしました。

なお、連結決算においては消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

2. 平成 28 年 3 月期通期連結業績予想数値と実績との差異

(平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	74,000	200	△ 800	△ 8,000	△ 135.14
実績値 (B)	73,098	381	△ 628	△ 8,122	△ 137.21
増減額 (B-A)	△ 901	181	171	△ 122	
増減率 (%)	△ 1.2	90.8	—	—	
(ご参考) 前期実績 (平成 27 年 3 月期)	73,730	641	1,513	1,178	19.99

差異の理由

売上高につきましては、通信、アミューズメントなどの分野での販売が想定を下回ったことから、前回予想を下回る結果となりました。

利益面につきましては、国内生産拠点の集約及び希望退職者の募集実施による収益改善が計画通り進捗したことに加え、徹底的なコスト削減を推し進めた結果、営業利益及び経常利益は前回予想を上回りました。親会社株主に帰属する当期純利益は、法人税等が予想を上回ったことにより、前回予想を下回る結果となりました。

以 上